

調布市障害者地域生活・就労支援センターちょうふだぞう

① 背景・目的

平成12年にちょうふだぞうは就労支援事業施設を開設。障害者雇用率は上がり続けており就労支援センターへのニーズも高まっている。

時代の変化に伴い地域で生活する方の支援や就労支援について変化がある中でちょうふだぞうの存在や取組み、また事業団内の障害者雇用の方々の活躍を知ってもらい、同じ職場で働く意識を持ってもらいたい。



② 取組み内容や実践の結果

- ・ Aさん：仕事に後ろ向きな際には、職場への訪問頻度をあげ様子を見ている。職場でも前向きな声掛けを依頼することで安定している。
- ・ Bさん：仕事はとても評価されているが、生活面に心配がある。専門家のアドバイスをもらい、声のかけ方を肯定的なものに変更することで行動変容があった。意識を継続するため毎月面談を実施している。
- ・ 事業団で活躍する障害者雇用の方を紹介。



③ 実践の考察/結論

安定した就労には企業と密に連携することが欠かせない。訪問の頻度や面談のタイミングはそれぞれ異なるため、ご本人や企業に寄り添った対応が柔軟な対応が求められている。障害特性を踏まえつつ「職場が何を求めているのか」「合理的配慮」を一緒に考えていく必要がある。



④ 考察/今後に向けて

環境や業務は日々変化していくため、引き続き企業と連携し障害者雇用を支える役割を担っていきたい。

事業団障害者雇用においても働きやすい環境づくりは、我々職員が担うものである。

